

R-101 シリンダー調整の方法①

※焙煎機本体の元電源のコンセントを抜いてスイッチを入れても運転しない様にして交換中の事故等が起こらないようにしてください。



●シリンダー調整の方法

- ① 止め金具をゆるめ、シリンダー隙間調整ダイヤルを時計回りに回して、プーリーが回る(前カバーに擦らないギリギリの)所までシリンダーを前進させてください。次に、前ダクトを取り外し隙間ゲージ 0.15~0.4ぐらいのもので前カバーとシリンダーの隙間を確かめていきます。

前カバーとシリンダーの
前面にギリギリ入るサイズの
隙間ゲージをいれる。



4カ所

前カバーとシリンダーの
全面にギリギリ入るサイズの
隙間ゲージをいれる。

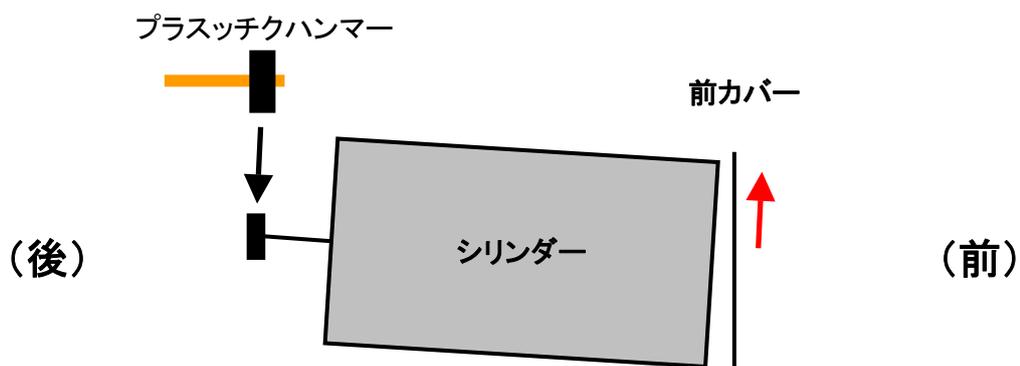


4カ所の隙間が同じ幅になるようにプラスチックハンマーでダイヤル台を叩き調整します。
(詳しくは次ページへ)

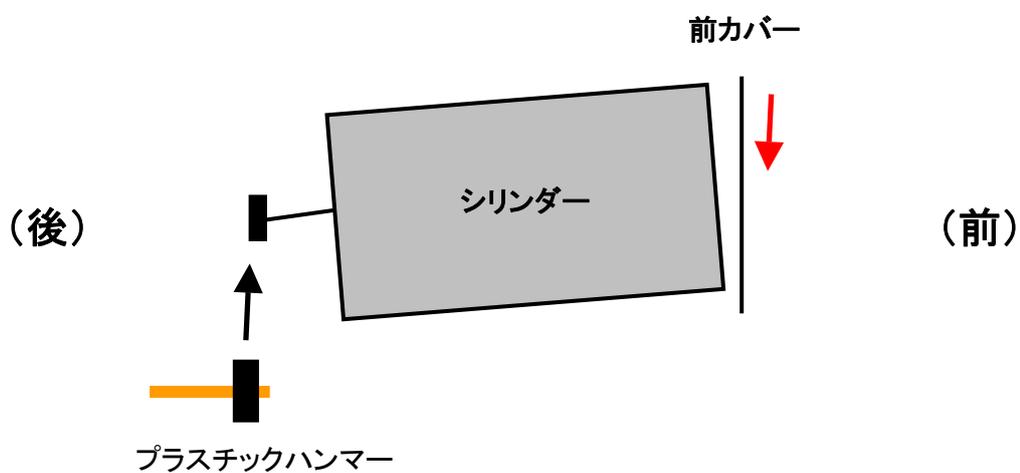


R-101 シリンダー調整の方法②

イメージ図



上から力を加えるとシリンダーの前面が上向きになります。

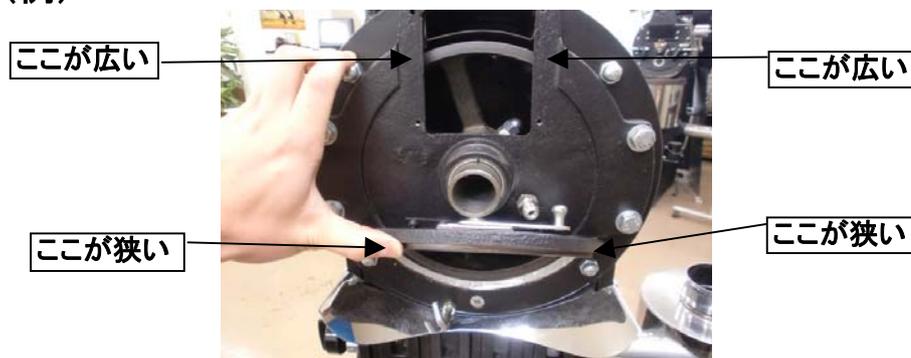


下から力を加えるとシリンダーの前面が下向きになります。

調整時のワンポイント
隙間の狭い方向から広い方向へ叩く

R-101 シリンダー調整の方法③

(例)



- ② ダイヤル台左右のボルトを軽く閉め、ダイヤル台をプラスチックハンマーで軽く叩きながら隙間ゲージで隙間を確認します。

この作業を何度か繰り返し、前カバーとシリンダーの幅が4カ所全てが同じ隙間になるように調整します。

(※上の例の場合は下から上に向かって左右同じ力で叩いて調整します。)

- ③ 隙間の調整が終わったら、ボルトをしっかり締め隙間調整ダイヤルを左に3目盛り回します。このときにVベルトもモーターにはめます。

電源をいれてパーナを点火して熱をいれていきます。シリンダーが熱で膨張していくことで前カバーと擦れる音があるので、その都度、隙間調整ダイヤルを左に1目盛りずつ回していきます。

240℃位まで同様に繰り返して行き、最後に隙間調整ダイヤルを左に1目盛り回して止め金具を止めます。

以上でシリンダー調整は完了です。